

中酪情報 No.604

2023年3月31日発行
毎号奇数月末発行

発行：一般社団法人 中央酪農会議
編集・発行人：寺田 繁
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-6-1
TEL:03-6688-9841 FAX:03-6681-5295

ご意見・ご感想をお寄せください。

読者の皆さまにもっと本誌をご活用いただきたく、より良い誌面作りに向けて努力してまいります。本誌へのご意見やご要望、ご感想がございましたら、電話・FAX・ホームページにて下記の「中酪情報」編集部までお寄せください。皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

宛先及びお問合せ先

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-6-1
一般社団法人 中央酪農会議「中酪情報」編集部
TEL:03-6688-9841 FAX:03-6681-5295
<http://www.dairy.co.jp/>
(中酪HP「お問い合わせ」ページよりアクセスできます)

編集後記

「桜前線」の北上とともに、各地に春の訪れを知らせてくれるサクラは、これから見ごろを迎える地域もあり、花見を楽しみにしている方も多いのではないのでしょうか。でも、咲き誇るサクラの品種にまで関心をもつ方はあまりないと思います。

サクラには野山に自生していた野生種（ヤマザクラなど）と、人によってつくられた栽培品種（ソメイヨシノなど）が存在します。2018年3月には、約100年ぶりに野生種の新種が発見されたことがメディアなどで報じられ、大きな話題となりました。

そのサクラは、三重県、奈良県、和歌山県の3県にまたがる山間部に自生し、素朴ながら淡いピンク色の美しい花を咲かせるそうです。この地域は古くから熊野地方と呼ばれていたことから、「クマノザクラ」と命名されました。

新型コロナウイルス感染拡大で自粛されていた花見も、今年から例年通りの賑やかさを取り戻しそうです。サクラは、よく観察すると、花の色や形、咲く時期など、実にさまざまです。毎年何気なく見ていたサクラが、意外と新品種だったなんてことがあるかもしれません。

新年度を迎えるにあたり、本会議の人事異動がありましたのでご案内します。
[令和5年4月1日付]

星井 久美子：事務局次長兼業務部部長を発令（業務部部長より）

大崎 修嗣：業務部次長を発令（総務部次長より）

草間 真平：総務部次長を発令（業務部調査役より）

橋詰 功一：業務部調査役を発令（新規採用）

[令和5年3月1日付]

本多 夏樹：業務部調査役を発令（新規採用）